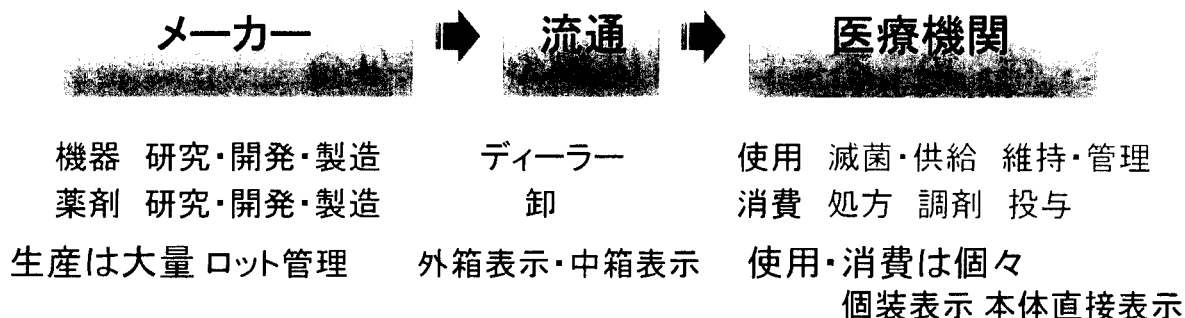
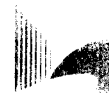
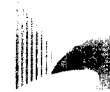


# 医療機器・薬剤の流通改善



- 三者それぞれの思い
- 究極の目的は「患者安全」、加えて「効率的な流通」のはず。
- バーコードは手段
  - 情報の質と活用

## 医療機関におけるバーコード利用



- 材料部(購入担当部門)
  - 発注の合理化
  - 在庫の適正化
    - 中央倉庫、病棟
- 経理部(病院長・事務長)
  - 医薬品・医療材料の無駄な使用の排除
  - 使用・消費の把握
- 看護部
  - 使用時点での誤りの防止
  - 滅菌供給部

# 欧米との事情の違い



- 流通にかかる部分にGPOの存在
- 英、独、仏、米とも事情は微妙に異なる
  - 上からの改革
  - 如何に安く買うか
- 薬剤師の権限・守備範囲の違い
  - 薬剤のみならず医療材料、医療機器までを管理
  - 薬剤助手の存在
  - 病棟常備薬、入院処方管理
    - 一日単位の入院処方
    - 電子収納庫の利用 患者安全
      - 地方分権 対 中央集権
- 看護師の実際業務は？

# 当院の看護師業務の実際 点滴

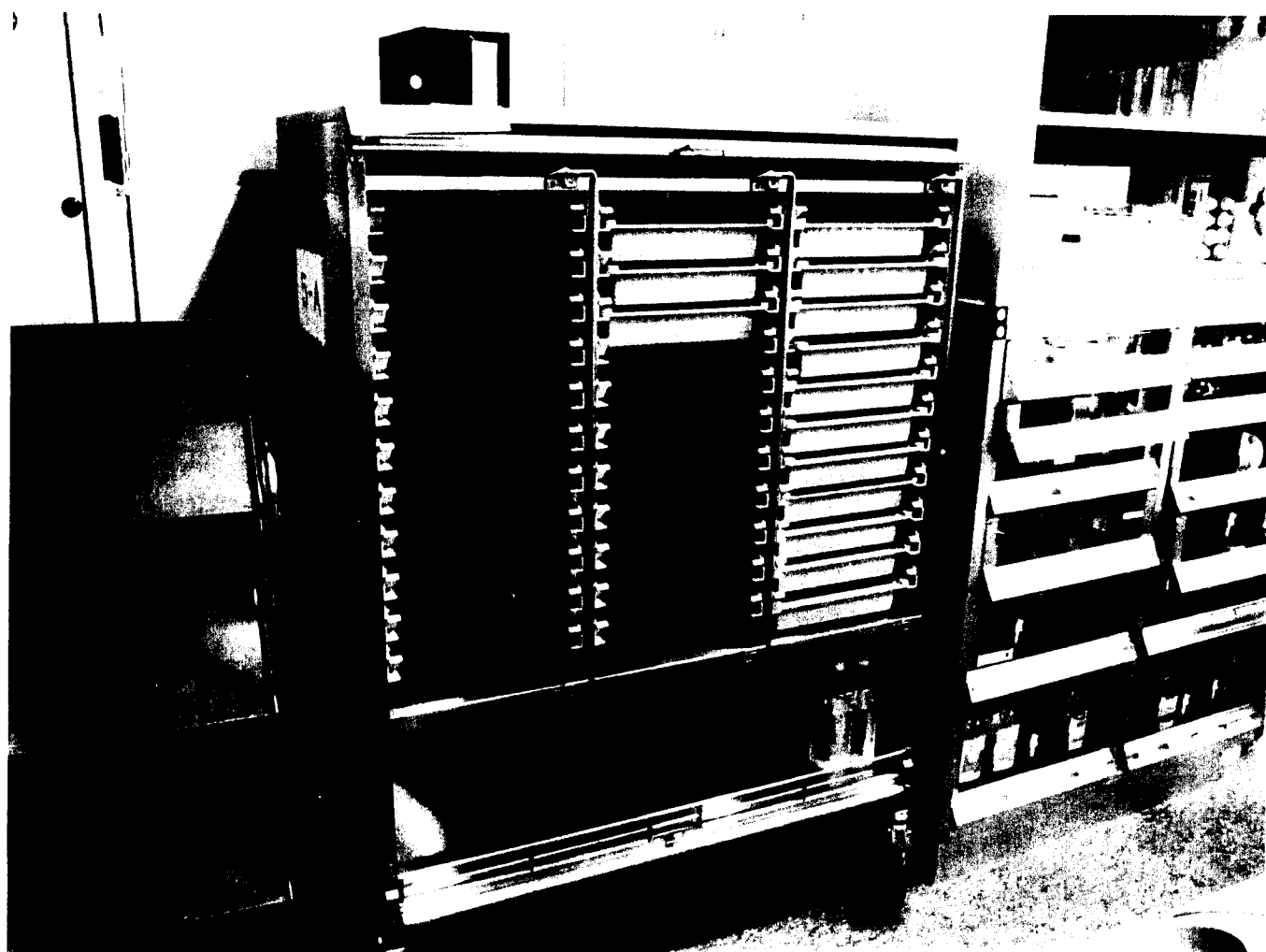


- 医師による処方
- 薬剤師による調剤・監査
- オートピッキングマシーン
  - 1トレイに1患者翌1日分の薬剤・処方箋・注射ラベルを用意
  - 専用運搬車で病棟ごとに移送(前夕)

# 当院の看護師業務の実際 点滴



- メーカー準夜Nsあるいは遅出Nsによる翌日使用分の確認
  - ワークシートの打ち出し
  - 薬剤との照合
- 当日Ns
  - バーコードリーダーの立ち上げ(自身のID登録)
  - ワークシートと薬剤と注射ラベルを二人で照合
    - 8項目 氏名 日付 時間 薬剤名 投与量 手技 投与経路 投与速度
  - 注射ラベルのバーコードを読み込み (最新の指示に基づいていること 正しい薬であることが確認される) 誰が準備をしたか
  - ミキシングの後 注射ラベルを貼付
  - ベッドサイドに持参
    - 患者に挨拶 注射について説明が在ったか 氏名の確認
    - 患者のネームバンド(リストバンド)のバーコード読み込み
    - 用意した薬剤に着いている注射ラベルのバーコードの読み込み 開始登録(誰が、いつ)
      - イン(輸液量バランス、コスト)
  - 点滴終了時
    - 注射ラベルのバーコードの読み込み 終了登録(誰が、いつ) 投与量の確認





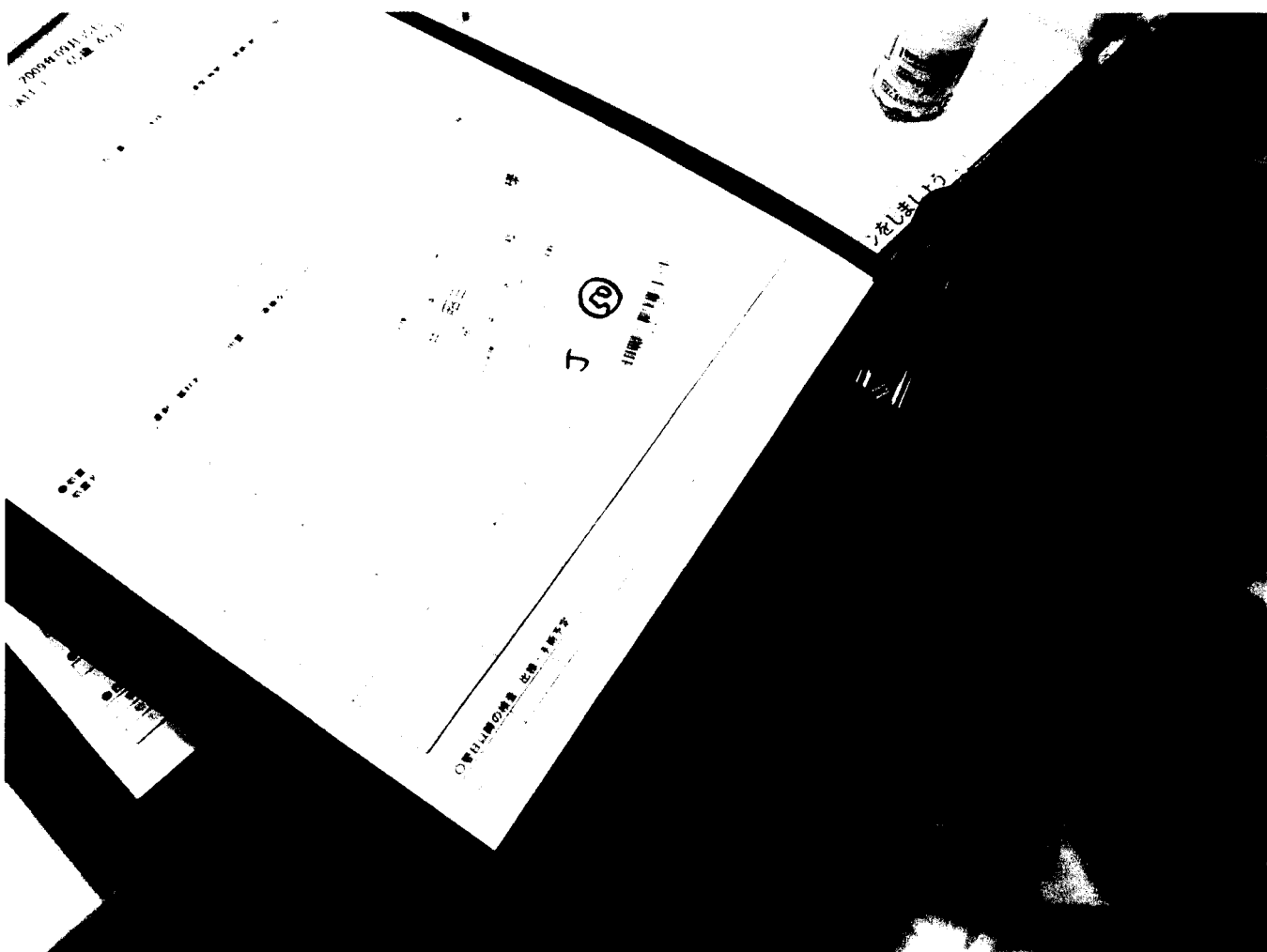
2009年09月30日 (水)

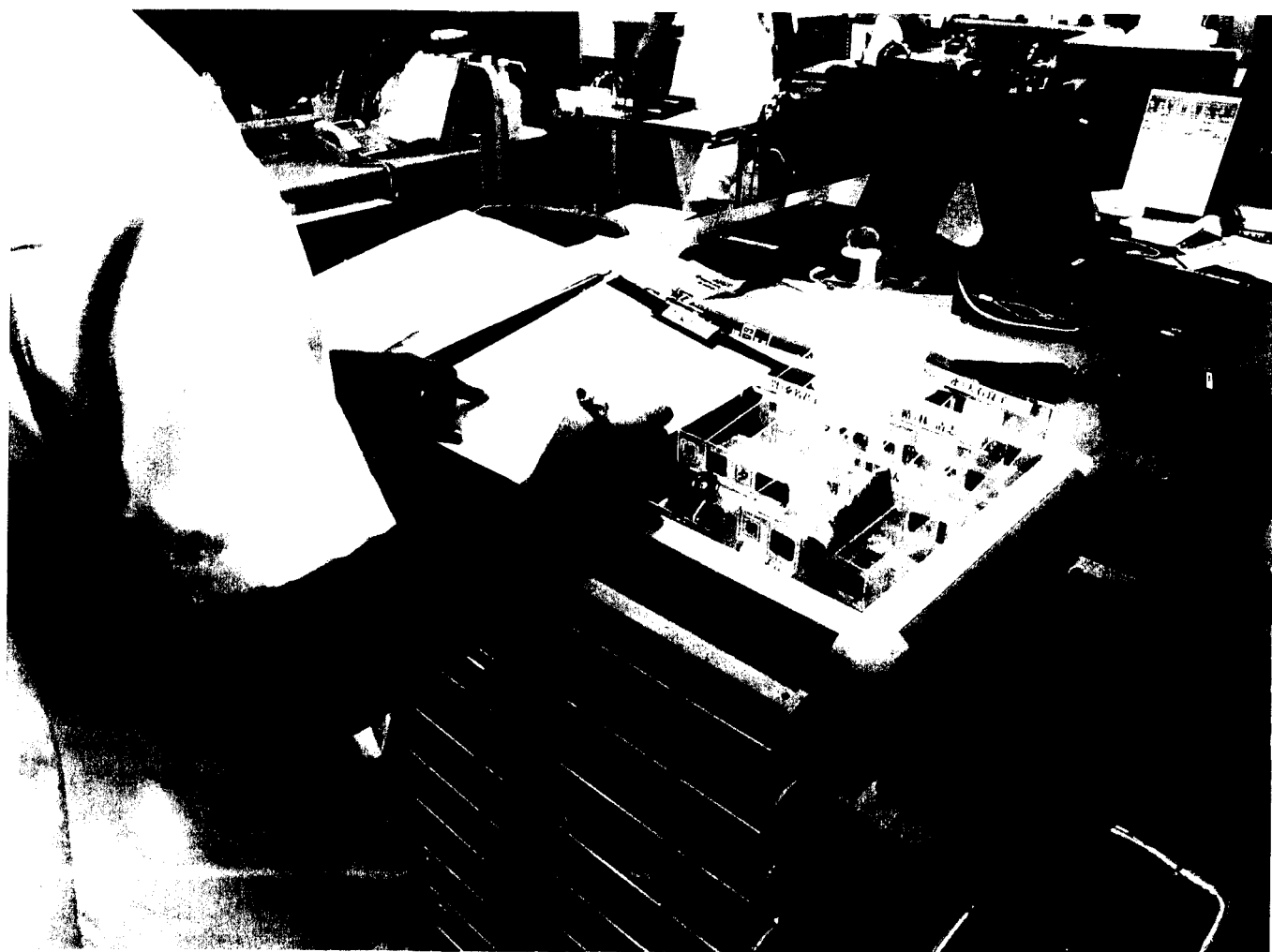
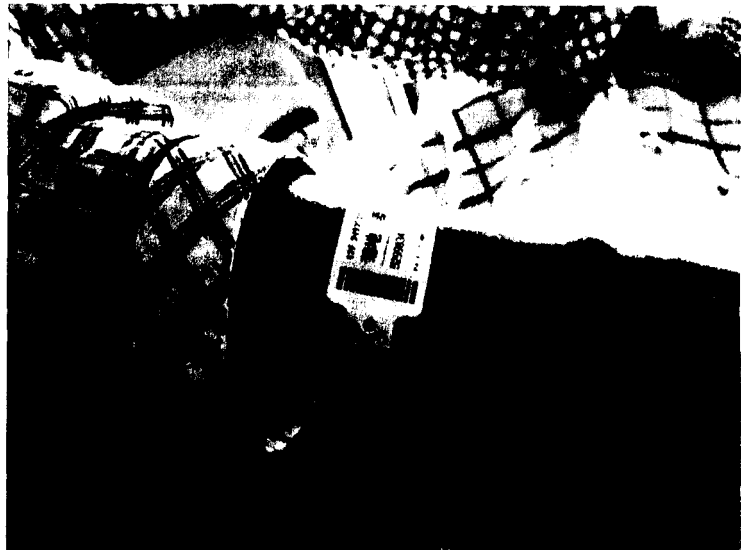
患者氏名: 7234141 様  
 入院年月日: 2009.09.30 21日目  
 診療科: 内科 主治医: 伊藤 雄 郎  
 看護区分: 単生 看護度: A-IV  
 アレルギー: 薬物: 有 (G, H, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z, ア, イ, エ, オ, カ, キ, ク, ケ, コ, ケ, コ, ケ, コ) 食物: 無

チーム: \ プライマリナーズ  
 担当医: 伊藤 雄 郎

5A11-1 65歳 4ヶ月

予定時間	薬品名	投与量	手技	速度/時間	経路/部位	備考
1日1回 ( )	アムピシリン 100mg/1mL	100mg	点滴静注	51 ml/h	末梢メインルート1	伊藤 雄 郎 (0930-0000) 病棟
	生理食塩液 (50, 50, 100, 250, 500mL)	50ml		*1 時間で		
	ヘパリン	500ml	LVH	37.5ml/h	中心静脈メインルート1	伊藤 雄 郎 (0930-0000) 病棟
	2V			39 *1 時間で		
	3V			62.5ml/h	末梢メインルート1	(0930-0000) 病棟
	4V			48 時間で		





# どうすれば医療機関が...

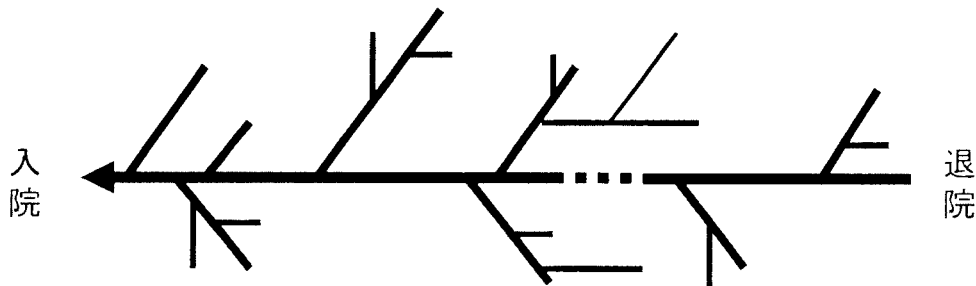


- 声を上げるべきは患者
  - 賞味期限や生産者・生産地の吟味は主婦の得意技
  - 服用している薬や使用している医療機器のルーツや使用期限を知らなくてよいのか
- メーカーで本体直接表示を
  - 医療機関における使用単位に対する配慮を
- 法律の柔軟な運用
  - 麻薬取締法 麻薬・向精神薬 専用の金庫
  - 薬剤師法 助手はノー
- 先行する者が裏切られない
  - For ex. 日赤による輸血パックのバーコード変更
- 共同購買の知恵
- 努力している者へはインセンティブを
  - 加算
  - 評価
- 究極の目的は患者安全

# 夢 今、考えていること



- 検査・処置・投薬・処方・物流・廃棄物など、物品を伴う医療行為のバーコード・RFIDによる一元管理。
- 情報は5W1H。
- 入院から退院まで患者ごとに時間軸で管理。



メーカー、流通、医療機関はそれぞれ閉じた組織でよい  
製品の誕生から患者に消費されるまで  
各組織の情報はGoogleのようなwebで検索できれば良いのでは